

部活動改革と心田開発 第十三回

～ ありがとう！パレット (前編 2018-2019) ～ 齊藤 勇

六年の時を経て 幕を閉じるパレット

本年二月号の表紙を飾った日本初の文化系・地域部活動、掛川未来創造部。パレットは、本連載の第六回でもふれた通り、掛川市が推進する「かけがわ地域クラブ」の新設が段階的に進みながらも、学校部活動は令和八年夏まで維持される流れの中で、部員の大幅な減少が二年間続いています。これまで一つの部活の中で様々な活動を内包してきたパレットは、多種多様な地域クラブの新設によって、その役割を終えたと捉えることもできます。そこで、現在パレットを主催するNPO法人(ポッカ)は、今年度をもって活動の幕を閉じることを決定。例年、三月末に行う謝恩会を「ありがとう！パレット」と題して開催。四期生～六期生(中学生部員全員)の卒部と一期生～三期生(卒部生)のOBORG会を兼ねた会を最後に行うことになりました。

二〇一八年 地域部活 創部

足早になりますが、今号から三回に分けてパレットの六年間を振り返っていきます。

私が代表を務めた一般社団法人(略称・FCN、二〇二〇年解散)が企画構想を練り、静岡県文化プログラム(現・アーツカウンシルしずおか)の文化芸術による地域・社会課題対応プログラムに採択されたことで創部。二〇一八年四月、体験入部の初日、サポート協力で参加の高校生二十名と一緒に、中学一年・十八名を迎えて、部活のオリエンテーションを行いました。

“みんなのふるさと”
掛川の文化の未来を
文化創造部が
プロデュース！



2018年4月14日 オリエンテーション
説明スライド画面の一部と会場の様子



表現の練習と発表活動だけでなく
優れたアーティストによる表現の鑑賞プログラムを実施
2018年11月25日、掛川市美感ホールにて
特別講師(エレクトーン)の演奏とトークを鑑賞

私が行ったプレゼンの中で、この地域部活は掛川の文化の未来をプロデュースすること、つまり文化創造の企画制作を担っていくことを説明。地域文化を持続可能に展開していくためには、企画プロデュース力が不可欠であると強く認識していたためです。この考えは、現在展開中の地域芸術祭の企画制作活動「未来創造プロジェクト」にそのまま継承されています。創部当初のパレットは、音楽・演劇・ダンス・放送を中心に平日2回の表現練習や鑑賞の活動、週末は月二回程度行う移動教室、合わせて年間百回活動しました。

初日から一貫している円形組織の概念

四月の体験入部初日の最後、円になって座る一年生たちを前に語りかけました。

『周りを見渡してみてもほしい。部活は一人ではできない。今日ここに集まってくれた仲間たちがいる。自己紹介を聞いてわかったと思うけど、得意なことや興味があること、みんな違う。どれかに優れていても、自分が上で誰かが下ということはない。一人一人に価値がある。一緒に参加してくれて「ありがとう」の気持ちをずっと忘れないでほしい。』

一円融合や万象具徳といった報徳思想を知ったのは、二月号表紙の移動教室第一回で大日本報徳社を訪ねた五月のこと。今思えば、パレットは見えない糸で報徳とつながっていたように感じています。



2018年4月14日 体験入部初日の最後
中学1年生たちに声をかけるパレット顧問(筆者)

そして翌年の二月、県総合教育センター講堂で開催された創作劇「遠州報徳と我が故郷」DNAバージョンの上演につながっていきます。同公演で掛川倉真温泉・真砂館の染葉さん作詞、岡田良一郎を称える歌「あゝ淡山翁」を披露するステージで声楽家の先生とパレット一期生の共演が実現しています。

二〇一九年 創部二年目の飛躍

初年度、一年生だけで部活を行った一期生。部員募集のチラシも自分たちで構想しデザイン案も考案。結果として入部は四名と少ない状況でしたが、体験入部も自分たちで企画したプログラムで歓迎。初年度に年間六〇回におよぶ外部講師の招聘回数を、この頃から大幅に縮減していきます。習い事的なプログラム主体から、より自主的・主体的に活動を企画・制作・運営する形に転換。自分たちで動かしていく「自治的な部活動」への本格的な挑戦が始まりました。



歓迎を受けるパレット2期生
2019年5月14日 美感ホール

実りの秋、大舞台への挑戦

同年九月、ラグビーW杯で日本中が熱狂した「静岡の歓喜」の当日、エコパスタジアム近くの特設会場にて、MC・ダンス・演劇・歌のコラボステージに出演。アイランドと日本の両国サポーターからも拍手喝采を受けました!



ラグビーW杯 特設ステージにて
2019年9月28日 エコパ周辺エリア

翌月、パレット一期生二名(当時・中二)のオリジナル台本と演出、部員たちが表も裏も自分たちで担う、演劇・音楽・ダンスの融合による創作劇「遠州報徳と我が故郷」エピソードII「私たちの未来」を大日本報徳社大講堂前にて上演。来場の皆様から好評を博し、名実共に大きな一歩を踏み出していきます。



パレット部員による創作劇の野外公演
2019年10月27日 大日本報徳社にて